

学年	1	科目 分類	数学AⅡ	講義	後期	学習教育 目標	担当	西垣, 鈴木, 谷, 水口 NISHIGAKI, SUZUKI, TANI,
学科(1年 はがス)	全		Mathematics AⅡ	必修	2単位	2		
概要	<p>数学を学んでいく上で、初等的な関数の定義と性質を理解することは重要である。この授業では三角関数の定義、性質を取り扱い、そのグラフの特徴を述べる。さらに、重要な加法定理とその応用を扱う。最後に数列と場合の数を取り扱う。</p>							
科目目標 (到達目標)	<p>三角関数では、一般角の概念を導入し、弧度法からその定義を理解し、グラフを描くことができる。加法定理を理解し、その応用ができる。場合の数では、順列と組合せの計算ができ、二項定理を理解する。数列では、等差数列、等比数列を理解し、これらの数列の和を求めることができる。帰納法を用いて命題を証明できる。</p>							
教科書 器材等	<p>新 基礎数学, 新 基礎数学問題集 (大日本図書), 新編 高専の数学1, 2 問題集 第2版 (森北出版)</p>							
評価の基準と 方法	<p>定期試験の成績を70%, 小テスト, 課題, 授業態度の結果の総点を30%として総合的に評価する。</p>							
関連科目	<p>数学AⅠ, 数学B</p>							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		ガイダンス, 一般角						
第2回		一般角の三角関数						
第3回		弧度法						
第4回		三角関数の性質 (1)						
第5回		三角関数の性質 (2)						
第6回		三角関数のグラフ (1)						
第7回		三角関数のグラフ (2)						
第8回		三角関数のグラフ (3)						
第9回		演習						
第10回		加法定理						
第11回		加法定理の応用 (1)						
第12回		加法定理の応用 (2)						
第13回		加法定理の応用 (3)						
第14回		演習						
第15回	×	後期中間試験						
第16回		後期中間試験の解説						
第17回		場合の数						
第18回		順列						
第19回		組合せ						
第20回		いろいろな順列						
第21回		二項定理						
第22回		演習						
第23回		数列						
第24回		等差数列						
第25回		等比数列						
第26回		いろいろな数列の和 (1)						
第27回		いろいろな数列の和 (2)						
第28回		漸化式と数学的帰納法 (1)						
第29回		漸化式と数学的帰納法 (2)						
第30回		演習						
第31回	×	学年末試験						
第32回		学年末試験の解説						
オフィスアワー	ガイダンス時に各教員が示す。							
授業アンケート への対応								
備考								
更新履歴	20120302 新規							